

# 第1回 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

日時：令和6年1月29日

午後6時～7時30分

会場：下諏訪町役場4階 講堂

## 次第

1. 開 会
2. 県教育委員会挨拶
3. 自己紹介
4. 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会について
  - (1) 「懇話会」開催の趣旨について
  - (2) 今後のスケジュール及び専門会議について
5. 座長選出
6. 会議事項
  - (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」について
    - ① 実施方針
    - ② 再編・整備計画【三次】
    - ③ 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）の学校像
  - (2) 質疑応答及び意見交換
7. その他
  - 次回の予定
    - 【日時】 令和6年5月下旬から6月（予定） 午後6時～7時30分
    - 【場所】 未定
    - 【内容】 各校生徒による学校・学びの紹介（予定）
8. 閉 会

岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	小口 道生	岡谷市 副市長
2		後藤 慎二	諏訪市 副市長
3		宮坂 享	岡谷市教育委員会 教育長
4		三輪 晋一	諏訪市教育委員会 教育長
5		松崎 泉	下諏訪町教育委員会 教育長
6	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所 副会頭
7		白鳥 和美	諏訪商工会議所 副会頭
8	学識経験者	市川 純章	公立諏訪東京理科大学 教授 地域連携総合センター長
9	地域	窪田 美彦	セイコーエプソン株式会社 人的資本・健康経営本部 副本部長
10		高林 千幸	岡谷蚕糸博物館 館長
11		宮原 渉	諏訪地域振興局 局長
12	同窓会	小松 壮	一般社団法人 岡谷工業高等学校同窓会 理事長
13		増澤 義治	諏訪実業高等学校同窓会 会長
14	PTA	宮島 竜仙	岡谷工業高等学校PTA 会長
15		大西 百合香	諏訪実業高等学校PTA 会長
16		林 賢司	諏訪PTA連合会 岡谷市会長
17		柳澤 修	諏訪PTA連合会 諏訪市会長
18	小中学校等関係者	櫻井 洋	諏訪校長会 代表 岡谷市立長地小学校長
19		根橋 ほなみ	諏訪校長会 代表 諏訪市立諏訪中学校長
20		傳田 浩章	諏訪養護学校 教頭
21	再編対象校	武田 怜也	岡谷工業高等学校 生徒代表
22		牛丸 瑤介	岡谷工業高等学校 生徒代表
23		清水 哲	岡谷工業高等学校 校長
24		森下 淳	岡谷工業高等学校 教職員
25		太田 優	諏訪実業高等学校 生徒代表
26		盛 咲 穂	諏訪実業高等学校 生徒代表
27		加藤 泰久	諏訪実業高等学校 校長
28		川村 俊介	諏訪実業高等学校 教職員

事務局

岡谷工業高等学校		諏訪実業高等学校		高校再編推進室	
飯島 健二	教頭・事務局長	橋本 徹	教頭・副事務局長	中島 秀明	主幹指導主事
御子柴久雄		久保田弥生	定時制教頭	井出 敦	主任指導主事
小野 貴敏		山田 佐江		有坂 清明	主任指導主事
小林 秀行		山本 春美			
宮下 倫幸		川村 俊介			

## 新校再編実施計画懇話会開催要綱

### (目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条令により設置された附属機関ではないものとする。

### (会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関すること
- (2) 校地・施設・設備等に関すること
- (3) 管理運営等に関すること
- (4) 教育内容等に関すること
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関すること

### (構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

### (開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

# 「新校再編実施計画懇話会」の目的、構成員の役割等について

長野県教育委員会事務局高校教育課  
高校再編推進室

## 1 懇話会の位置づけ

「審議会等の設置及び運営に関する指針（平成14年1月18日制定）」第2（2）に規定する「懇談会等」。

（注）地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項に規定する「附属機関」ではない。

## 2 主宰者

長野県教育委員会

## 3 目的

統合新校の開校に向けて、目指す学校像や教育課程のあり方等について意見交換を行い、県教育委員会と共に学校づくりを行う。

## 4 懇話会の役割

次の事項について意見交換を行うが、懇話会としての意思を表明する「答申」、「承認」等を行わない。

- 目指す学校像
- 設置課程・学科
- 募集学級数
- 募集開始年度
- 活用する校地・校舎
- 学校教育目標
- 教育課程
- 施設・設備
- 校名
- 校歌・校章
- 統合の方法 など

## 5 構成員として期待される役割

地域や組織の代表として、可能な範囲で情報収集や意見集約等を行い、大所高所から統合新校の学校像や教育課程のあり方などに関する提案を行うとともに、懇話会における意見交換の状況等を地域や組織へ時機をとらえて伝達する。

## 6 その他

新校再編実施計画懇話会開催要綱は、別紙のとおり。

「岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会」のスケジュール（案）

高校再編推進室

年度	月・日	懇話会	内容
令和5年度	1月29日 (月)	第1回懇話会	○「県教委より説明」 実施方針、再編・整備計画【三次】の説明
令和6年度 (2024年度)	1・2か月に1回開催 (予定)	第2回懇話会	○目指す学校像 ・両校生徒による学校・学びの紹介、発表 (現在の各校の取り組み、新校への期待など)
		第3回懇話会	○目指す学校像 ・先進校の事例、アドバイザーによる講演会など ・グループディスカッション
		第4回懇話会	○目指す学校像 ・グループディスカッション (予定)
		以降は、進捗状況に応じて開催	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     &lt;意見交換項目&gt;                      ○学校像、新校の学び                      ○設置課程                      ○活用する校地・校舎 (提示)                      ○募集開始年度                      ○募集学級数                 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     教育委員会定例会で「再編実施基本計画」を決定                 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">                     統合について県議会で同意                 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     新校準備委員会を中心に 校名、学校運営、地域協働、進路、生徒会、校歌・校章など細部にわたり検討 ⇒ 懇話会で意見交換                 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">                     新 校 開 校                 </div>
3・4か月に1回開催 (予定)	新校開校まで 随時開催		

# 第1回岡谷諏訪総合技術新校（仮称） 再編実施計画懇話会



学校のキャラクター「岡谷なび」  
©長野県教育委員会（岡谷なび）

令和6年1月29日  
下諏訪町役場4階 講堂

1

## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

- ①手指消毒
- ②ソーシャルディスタンスの確保
- ③会議時間 1時間30分(90分間)



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

感染防止対策に可能な範囲でご協力ください

2

## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



3

## ◆岡谷諏訪野総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4

## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 4 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）

#### 再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨について
- (2) 今後のスケジュール等について



5

## 懇話会開催の趣旨

### （目的）

再編実施計画を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

### （会議事項）

①学校像,教育方針 ②校地・施設・設備 ③管理運営 ④教育内容 ⑤その他

### （構成員）

- ①学校関係者（校長、教職員等）
- ②地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）
- ③同窓会、PTA、生徒の代表 等
- ④学識経験者

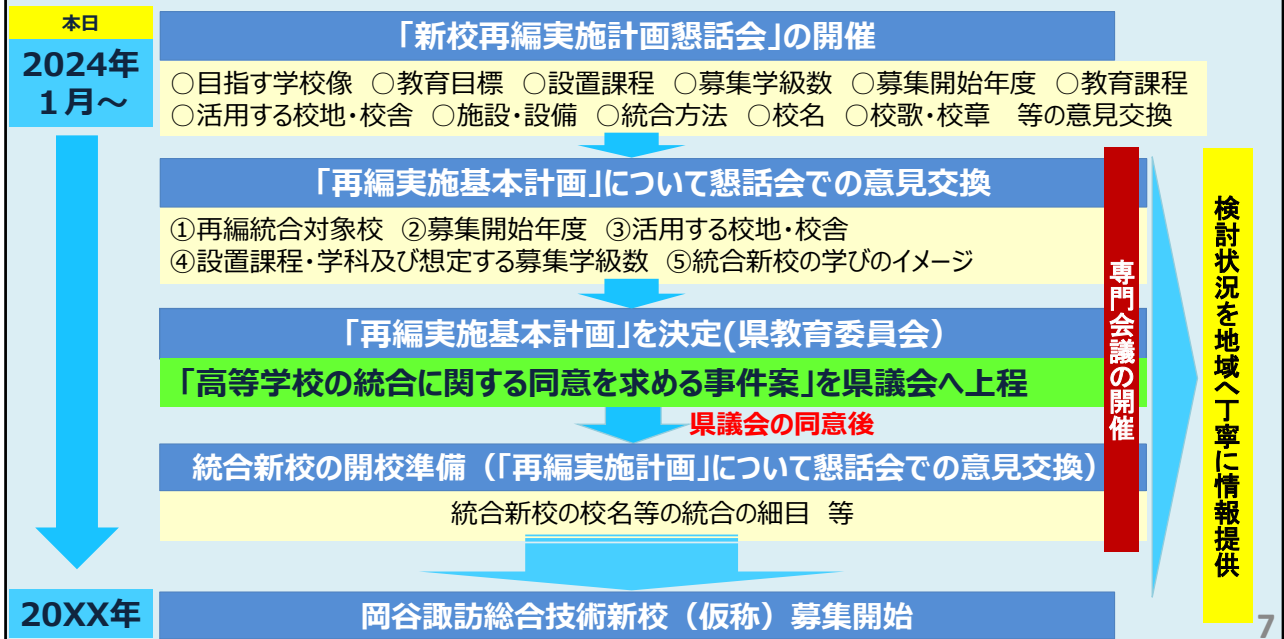
### （開催期間）

新校が開校するまでの間

6



## 今後のスケジュール等



## ◆岡谷諏訪総合技術新校 (仮称) 再編実施計画懇話会

### 5 座長選出



## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 6 会議事項

#### (1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【三次】
- ③ 岡谷諏訪総合技術新校の学校像（例）

#### (2) 質疑応答及び意見交換



9

高校改革 ～ 夢に挑戦する学び ～

再編・整備計画【三次】

2023年（令和5年）1月



10

## 高校改革の経緯

2017年3月 学びの改革 **基本構想**

▶ 「新たな社会を創造する力」を育む教育の推進と高校づくり

旧第12通学区ごとの地域懇談会 意見交換会 パブリックコメント 等

2018年9月 高校改革～夢に挑戦する学び～**実施方針**

▶ 「新たな学びの推進」と「再編・整備計画」の方針

「高校の将来像を考える**地域の協議会**」の設置

- ▶ 各旧通学区における高校の将来像について意見・提案書の策定
- ▶ 県教委への提出

11

【一次】(案)として示し、住民説明会 等

2020年(令和2年)9月 再編・整備計画【一次】

▶ 旧第1、6、8、9通学区の再編・整備計画を決定

【二次】(案)として示し、住民説明会 等

2021年(令和3年)9月 再編・整備計画【二次】

▶ 旧第2、5、8 (未確定分)、10通学区の再編・整備計画を決定

2022年(令和4年)5月 再編・整備計画【三次】(案)公表

【三次】(案)として示し、住民説明会 等

2023年(令和5年)1月 再編・整備計画【三次】

▶ 旧第3、4、7、11、12、定時制・通信制の再編・整備計画を決定

12

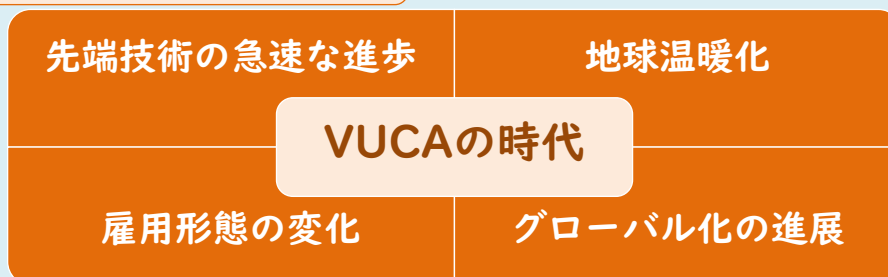
## なぜ高校改革が必要なのか？



13

## なぜ高校改革が必要なのか？

### 必要な能力の大転換



今までの知識注入型の学びでは  
もはや限界

新たな学びの推進



14

## なぜ高校改革が必要なのか？

### 急激な少子化

～中学校卒業生数の推移～



次代の子どもたちに質の高い  
学びの環境を提供するためには…

新たな高校づくり



15

## 高校改革が目指すもの

激変する社会への対応

新たな学びの推進  
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり  
(学びの基盤を整備)

「新たな社会を創造する力」を学びの中で培うために

- ▶ **すべての県立高校が**、これからの時代に必要とされる力を生徒に育む新たな学びに転換
- ▶ 夢に挑戦できる**多様な学びの場**、**学びの仕組み**を整備充実

16

これまでの授業

講義型の授業



知識・技能を  
間違えずに習得、  
必要に応じて活用

これからの「学び」の一例

主体的・対話的で深い学び



知識・技能を活用し、  
正解のない課題に向き合い、解決していく

再編・整備計画【三次】 旧第7通学区

旧第12通学区  
(大北地域)

旧第11通学区  
(塩尻・松本・安曇野地域)

旧第3通学区  
(長野市北部地域)

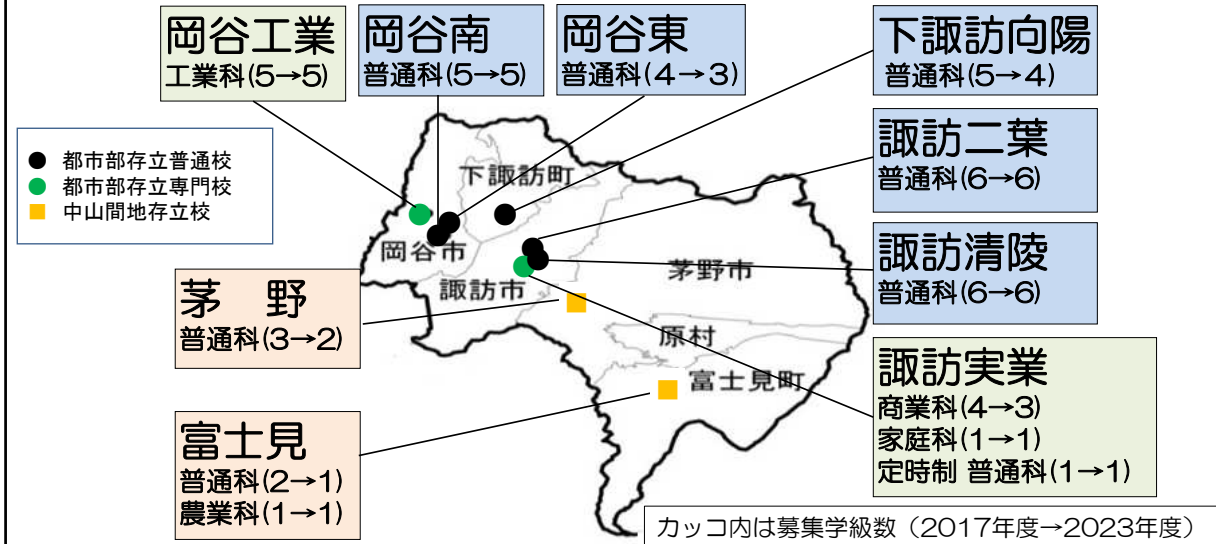
旧第4通学区  
(長野市南部・千曲・坂城地域)

旧第7通学区  
(諏訪地域)

定時制・通信制  
(全県)

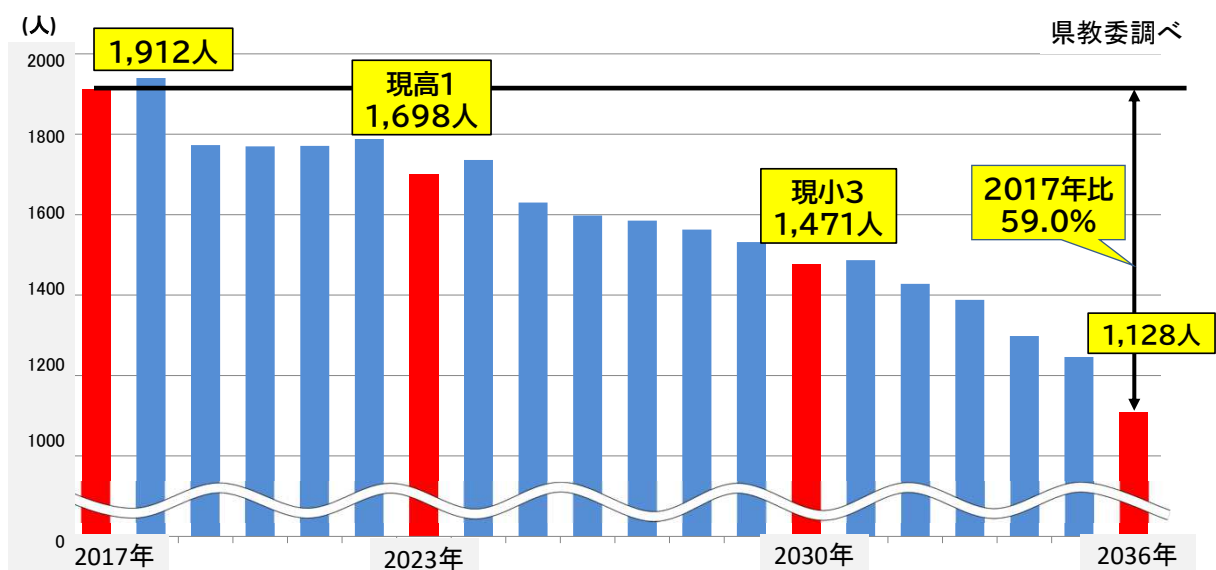


## 旧第7通学区 高校配置と募集学級数



19

## 旧第7通学区 中学校卒業生の推移と予測



20

## 「実施方針（2018年）」旧第7通学区「再編計画の方向」

- ・ 地域の中学生の期待に応える学びの場を整備
- ・ 再編の実施を前提にした地域の高校の将来像
- ・ 専門教育の活力を維持充実

これらを踏まえて…

- ・ 規模の大きさを活かした、都市部存立普通校
- ・ 学びの場の保障の観点による中山間地存立校
- ・ 総合技術高校の設置等による専門教育の維持充実

21

## 地域の協議会

名 称 諏訪地域の高校の将来像を考える協議会

活動期間 2019年（令和元年）10月～

意見提出 2021年（令和3年）3月22日



22



## 地域の協議会 「学びのあり方」「環境整備」に関わる意見等

### 学びのあり方に関わる意見

地域の産業、観光資源等**地域の魅力**についての学び

学び直し等が可能な**柔軟な学び**や**特別支援教育**の充実

**国際的な感覚**や**先進的な資質**の育成を目指す卓越した学び

地域の**伝統産業の担い手**を育成する学び

**諏訪地域を支える**様々な分野の**担い手**の育成に繋がる学び

幼保小中高大の**学びの連続性**や**連携**が重視された学び

### 環境整備に関わる意見

地域の中で自分の希望がかなえられる**多様なニーズ**に対応した学びの場の整備

他地区への**進学者流出抑制**や他地域からの移住につながる**魅力ある教育環境**

23

## 地域の協議会 高校配置に関わる意見

都市部存立  
普通校

多くの仲間たちと切磋琢磨できる規模の大きな学校の設置

都市部存立  
専門校

専門分野の学びを究めるとともに、他分野の学びが可能となる学科間連携が可能な総合技術高校の設置

中山間地  
存立校

地域の学びの拠点として、地域住民との積極的なかかわりやきめの細かい教育活動が可能な学びの場

定時制及び  
通信制課程

多様な生活スタイルや学習ニーズに対応する夜間定時制課程の設置、将来は通信制課程の設置も検討

24

## 【三次】再編・整備方針「これから実施する計画」

岡谷東高校(普通科)  
岡谷南高校(普通科)



岡谷新校(仮称)

岡谷工業高校(工業科)  
諏訪実業高校(商業科・家庭科)



岡谷諏訪総合技術新校(仮称)

茅野高校(普通科)  
富士見高校(普通科・農業科)



茅野富士見新校(仮称)

諏訪実業高校定時制を、岡谷諏訪総合技術新校(仮称)に移管

25

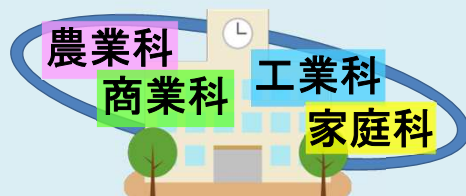
## 総合技術高校とは

Society5.0  
超スマート社会  
グローバル化

### 専門教育への期待

- ・変化に柔軟に対応できる専門能力の育成
- ・専門分野の枠を越えた汎用的・多面的な職業能力の育成

## 総合技術高校の設置を推進



総合技術高校 専門高校

- ◆各産業に必要とされる共通の学び  
→ 基礎学力、DX等のデジタル系の学びなど
- ◆各学科の要素を連携させる学び  
→ 課題研究、地域・企業との協働、探究学習など

総合学科と異なり  
それぞれの専門科目を25単位以上履修する

学科の独立性を確保

26

## 総合技術高校の設置を推進する理由

➤ 地域に根付いている現在の**専門学科をできるだけなくさない**

各産業に共通して必要とされる基礎学力を養う学び、各学科の要素を連携させる学び

➤ 予測困難な**新局面に柔軟に対応して学びを深める**

### 柔軟で持続可能な専門教育を追求する仕組み

飯田OIDE長姫高校 飯田工業・飯田長姫(商・工)	2013
須坂創成高校 須坂商業・須坂園芸	2015
佐久平総合技術高校 北佐久農業・岩村田(工)・臼田	2015

+ 4校

長野千曲総合技術新校(仮称)	更級農業 屋代南 松代(商)
岡谷諏訪総合技術新校(仮称)	岡谷工業 諏訪実業(商家)
上伊那総合技術新校(仮称)	辰野(商) 箕輪進修(工) 上伊那農業 駒ヶ根工業
安曇野総合技術新校(仮称)	南安曇農業 穂高商業 池田工業

27

## 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）に再編・統合する理由

実施方針(2018年)

総合技術高校の設置等により、専門教育の維持

諏訪地域協議会

一定規模の総合的な専門学科高校の設置

理由  
1

少子化がさらに進行しても、諏訪地域に工・商・家の学びを残していくためには、総合技術高校に統合することがベストな選択

理由  
2

複数の学科を有する総合技術高校は、産業構造の変化や技術革新にも柔軟に対応できる持続可能な専門高校であること

28

## 岡谷諏訪総合技術新校（仮称）の学校像として考えられる姿

学科の専門性

学科を横断した科目

汎用的・多面的  
職業能力の育成

工業

連携 協働  
デジタル系  
新学科

精密機械産業や  
伝統産業に新たな  
イノベーションを

商業

融合

家庭

起業家精神を育成

地域社会や地域産業の新たな価値を生み出す産業人を育成

地域との共学共創プラットフォーム

29

## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 6 会議事項

(1) 「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【三次】
- ③ 岡谷諏訪総合技術新校の学校像

(2) 質疑応答及び意見交換



30

## ◆岡谷諏訪総合技術新校（仮称）再編実施計画懇話会

### 7 その他

【次回の予定】

- ◆日 時：令和6年5月下旬から6月頃  
午後6時～7時30分
- ◆会 場：未定
- ◆内 容：各校生徒による学校・学びの紹介  
意見交換

### 8 閉 会

